

# Leçons de ténébres

## ルソン・ド・テネブル

17世紀～18世紀 フランス・バロック時代の祈りの歌と器楽作品

フランソワ・クーブラン (1668～1733) ルソン・ド・テネブル - 聖水曜日の朝課のための朗誦 -  
マラン・マレ (1656～1728) ヴィオール曲集より  
ルイ・クーブラン (c. 1626～1661) クラヴサン曲集より プレリュード 他

夏山 美加恵、本田 美香 (ソプラノ)

西谷 尚己 (ヴィオラ・ダ・ガンバ) 杉浦 道子 (チェンバロ)

豊橋公演 2025 2.7 [金] 穂の国とよはし芸術劇場 PLATアートスペース  
18:00 開場 18:30 開演 愛知県豊橋市西小田原町123番地  
主催: オンドゥソノール

名古屋公演 2025 2.8 [土] 日本聖公会 名古屋聖マルコ教会  
13:30 開場 14:00 開演 愛知県名古屋市東区白壁1-32

入場料 全自由席 4,000円 ※ 未就学児の同伴はご遠慮ください

【お問い合わせ & 両公演チケットご予約】 070-1682-7807 lecons2025@yahoo.co.jp

【チケットお取り扱い】

【豊橋公演】 プラットチケットセンター 0532-39-3090 (10:00-19:00休館日を除く) <http://toyohashi-at.jp>

【名古屋公演】 芸文プレイガイド 052-972-0430

後援: 豊橋市・(公財)豊橋市文化振興財団・東海バロックプロジェクト  ・名古屋バロック音楽協会



# Leçons de ténèbres

## 暗闇の朗誦 ルソン・ド・テネブル

17世紀～18世紀 フランス・バロック時代の  
祈りの歌と器楽作品



### 夏山 美加恵 ソプラノ

名古屋市立菊里高校音楽科、第6回山梨古楽コンクール第3位入賞。ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルを専攻。オランダ王立音楽院古楽科声楽コースに入学。同校修士課程を修了。音楽院在学中より中世音楽への意欲が高まり、欧州における著名音楽家達より中世音楽理論、歌唱法を学ぶ。オランダ国内外の多くの古楽アンサンブルと共演し、ユトレヒト、ブルージュ、ベルリン等の国際古楽祭等で中世、ルネサンス、バロック音楽のプログラムでソリストとしてまたはアンサンブル歌手として多くの演奏会に参加。現在もソロやアンサンブル歌手として演奏活動を行う傍ら、指導にも積極的に取り組んでいる。ムジカ・バラフォニスタ主宰。名古屋にて毎月個人レッスンの他に、モンセラートアンサンブル名古屋、カペラ・カンティカ・ノヴガの指導をしている。

### 本田 美香 ソプラノ

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院修了。第11回大幸財団丹羽奨励生。《ナクソス島のアリアドネ》エビョー役にてオペラデビュー後、丹波明作曲の世界初演となった楽劇《白峯》に乳母役で出演。バロックオペラ《ボッパアの戴冠》にドウルシラ役として出演し、この公演は第12回名古屋ペンクラブ賞を受賞。また、J.S.バッハの受難曲・カンタータ、メンデルスゾーン/エリアなど宗教曲のソリストも多数務める。2011年には「須賀田磯太郎」の歌曲の世界初録音。J.S. Bach-Musikkapelle、東海バロックプロジェクトメンバー。

### 西谷 尚己 ヴィオラ・ダ・ガンバ

静岡出身。桐朋学園大学古楽器科卒業。同大学研究科修了。翌年よりオランダに留学。デン・ハーグ王立音楽院をソリスト・ディプロマを得て卒業。ヴィオラ・ダ・ガンバを宇田川貞夫、中野哲也、ヴィーラント・クイケン各氏に師事。室内楽をクイケン兄弟、ウィルバート・ハーツェルツェット、ジル・フェルドマン、他に師事。ネーデルランド・ダンスシアタープロジェクトに出演するなどオランダ各地でソリスト、通奏低音奏者として演奏活動を行う。現在、日本各地で演奏、指導活動を繰り広げている。「ソレイユ・ルヴァン」、「レ・キャトル・セゾン」、「ムジカ・エランテ」メンバー。

### 杉浦 道子 チェンバロ

鷲乃(岐阜)高等学校音楽科を卒業後、渡欧。ルツヴェルン音楽院及びローザンヌ音楽院ピアノ科卒業後、J.マルビル女史と出会いチェンバロを学び始める。ローザンヌ音楽院チェンバロ科卒業後、ルガノ音楽院でも学ぶ。スイスではカメラータ・ドゥ・ローザンヌ、ヴェルビエ・フェスティバル室内オーケストラ等で、通奏低音奏者としても活躍。帰国後、東海地方を中心にバロックアンサンブル、チェンバロのコンサートへの企画・演奏活動、及びチェンバロ・ピアノの後進指導にもあたる。東海バロックプロジェクトメンバー。名古屋芸術大学非常勤講師。これまでに、チェンバロをJ.マルビル、F.ポニツォーニの各氏に師事。

キリスト教の復活祭の前にある聖週間にて旧約聖書の預言者エレミヤの哀歌が読まれます。

バビロニア人によるエルサレムの破壊を嘆く預言者の悲しみを描いており、キリスト教(主にローマ・カトリック教会)の伝統として、この「哀歌」は、弟子たちに見捨てられたキリストの孤独を象徴しています。修道院のお勤めである聖務日課のうち、まだ夜も明けていない早朝に行われる朝課で読まれるため「暗闇の朗誦」と呼ばれています。

フランソワ・クーブランはパリのロンシャン女子修道院の聖週間の聖水曜日の典礼のためにこの曲を書いたのですが、当時のフランス、ルイ14世の治世末期では宗教音楽にも、イタリア音楽の影響を受けており、したがって、クーブランのこの作品もフランス風の繊細で優雅な様式を基本としながらも、イタリア風の劇的で豊かな感情表現に満ちています。

本公演にて2人のソプラノのそれぞれの独唱、そして二重唱を、本来はオルガンによる伴奏で演奏されるところ、本公演ではクーブラン自身が作品の序章でも提案していたチェンバロとヴィオラ・ダ・ガンバの伴奏という編成でお届けいたします。また同時代の美しい器楽作品も併せてお楽しみください。

### 穂の国とよはし芸術劇場 PLATアートスペース

愛知県豊橋市  
西小田原町123番地



豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩約3分 ※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用ください。豊橋まちぢか・えきちか駐車場(公共第1・第2)・パーク500をご利用の場合、料金が30分150円から30分100円に割引(上限4時間)になります。

### 日本聖公会 名古屋聖マルコ教会

愛知県名古屋市  
東区白壁1-32



名古屋城駅(地下鉄名城線) 2番出口より東へ徒歩10分、市バス「清水口」下車、徒歩3分